



2019・7・1

第 343 号

101-0065 東京都千代田区  
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

## 首相「改憲を参院選の争点に」と国民に挑戦状

### 具体的な問題では論戦回避

安倍首相は26日、通常国会の閉会を受けて記者会見し、「令和の日本がどのような国をめざすのか、理想を語るのが憲法だ。この1年、国会の憲法審査会は衆院で2時間あまり、参院ではたった3分しかしていない。本当に良いのか」と言い、参院選は、「憲法の論議すらしない政党を選ぶのか、国民に自分たちの考えを示し、議論をすすめる政党を選ぶのかを決めていただく選挙だ」と述べました。さまざまな立憲主義破壊の暴挙をまともな憲法論議なしに強行したことにもかかわらず、国民の望まない「改憲論議」のみを強要するのです。

自民党は「早期の憲法改正」を参院選公約に掲げ、安倍首相は20年中の改正憲法施行を公言しています。そのためには秋の臨時国会で自衛隊明記を柱とする改憲案の論議を本格化させる必要があると、自民党、安倍首相は焦っているのです。

いずれにしても、参院選後に改憲に突進するとの構えを崩してはいません。

### 改憲議員懇が呼応して草の根の策動

改憲右翼団体日本会議と一体の日本会議

国会議員懇談会は20日の総会で「早期の改憲発議をめざす」と安倍首相に呼応する方針を決めています。

また、「憲法改正について幅広い国民的理解を促進するため、衆参選挙区・市町村に『議員』と『民間』が連携したネットワーク（国民投票連絡会議）づくりを促進し、研修会や講演会を開催し、国民投票における過半数の賛成投票をめざす」との方針も採択しています。

### 戦争法強行の19日、各地で行動

安保法制=戦争法が施行され3年9ヶ月の19日、「戦争法廃止」「安倍9条改憲阻止」の19日行動が各地で取り组まれました。

【愛知県／あいち9条の会・など】名古屋市中区では、あいち9条の会、安倍9条改憲No!あいち市民アクション、愛知憲法会議が共同し「6・19集会」を開きました。

梅雨の晴れ間のなか300人以上が参加。「武器よりくらしを」「安倍改憲発議を許さない」「消費税10%増税ストップ」をアピールしました。

リレートークで小山初子・命どう宝あいち代表世話人は「沖縄県民の民意を無視し

て辺野古新基地建設を強行する安倍政権は許せない」、保育士の遠藤香織さんは「未来ある子どもの成長のためには保育士の労働条件改善が必要」と。愛知視覚障害者協議会の梅尾朱美会長は「弱者が幸せになるには平和が大切。安倍政治を終らせ希望のもてる社会をつくろう」と強調しました。

愛知憲法会議事務局長の本秀紀・名古屋大学院教授は「参院選で市民と野党は13項目の共通政策でたたかう。さまざまなテーマで運動を広げ安倍政権を退陣に追い込もう」と述べました。

参加者は「うそつき安倍首相はやめろ」「安倍改憲阻止」のボードを掲げて繁華街をデモ行進。毎回参加している河上洋一さん（64）は「『100年安心の年金』、イージス・アショア問題などウソばかりつく安倍政権を終わらせたい」と語りました。

### 米の戦争に道づれはゴメン

【静岡県／戦争法廃止オールしずおかアクション】 オールしずおかアクションは、静岡市葵区で戦争法の廃止・安倍9条改憲反対などを訴える宣伝とパレードに取り組み、30人余が参加しました。

林克代表、芳賀直哉氏（安保法制に反対する静岡大学有志の会）、合戸政治氏（静岡市9条の会連絡会）らは、「9条改憲を許せば、米国とともに戦争に参加させられ、最前線に立たされる危険がある。改憲をすすめる安倍政権を参院選でひきずりおろそう」と訴えました。

安倍9条改憲反対署名も呼びかけ。署名した男性（45）は「戦争してほしくない。憲法9条があることで今まで平和だった。今の憲法を守るべきです」と話しました。

パレードでは「軍事費削って暮らしにまわせ」「選挙で政治を変えよう」等とコール。沿道で立ち止まって見つめる姿や、ドラムにあわせて手拍子を打つ人もいました。

### 改憲公約掲げた安倍政権許せない

【兵庫県尼崎市／全国市民アクション立花】 安倍9条改憲No.！全国市民アクション立花は19日夕、兵庫県尼崎市のJR立花駅で3000万人署名の定例宣伝を行いました。

立花9条の会や尼崎医療生協から9人が参加し、3000万人署名29人分集めました。安倍政権が参院選で改憲を公約に掲げたことや、アメリカのトランプ大統領言いなりに武器を爆買いするなど、安倍政権の狙いがアメリカと一緒に戦争する国づくりにあることを訴え、「3000万人署名を集め、参議院選挙で安倍政権に厳しい審判を」と呼びかけました。「憲法を変えられたら困る」「安倍さんは怖い。選挙頑張って」などの声が寄せられました。

### 改憲派のまいているチラシを批判

#### 【青森県／青森県九条の会・三八連絡会】

「安倍9条改憲NO！戦争法廃止」を求める行動が19日、青森、八戸の2市で取り組まれ、3000万人署名への協力を訴えました。

県九条の会は、青森駅前公園で行動。参院選を前に、県内各地に配布されている「美しい日本の憲法をつくる国民の会」のチラシを手に反論。

「海外で戦争する国づくりを狙い、民主主義・立憲主義を踏みにじる安倍政治に対しての怒りが、改憲阻止のたたかいを広げています。9条を守るたたかいと一緒に広げてください」と呼びかけました。

戦争法廃止を求める三八連絡会は、新調

した「戦争法の廃止を！安倍9条改憲No.！」と書かれた横断幕を掲げ、八戸市の三日町交差点でリレートークしました。

## これから憲法守る闘いの正念場

【和歌山市／守ろう9条紀ノ川市民の

会】「紀ノ川市民の会」は6月2日、和歌山市・河北コミュニティセンターで第15回総会を開催しました。

開会に当り、代表の原通範さんは、「これから私たちの憲法を守るたたかいは本格的な段階」と述べ「安倍政権は1機180億円ものF35ステルス戦闘機を147機も爆買いするという。軍事費を増やして教育や福祉の予算が大きく削減されている。軍備拡大ではなく、憲法9条を守り、私たちの平和な生活を守っていこう」とよびかけました。

愛知大学教授（憲法学）・長峯信彦さんが「安倍改憲のトリックを斬る～憲法制定過程の真実と平和憲法を守る歴史的責任～」と題して講演。「日本国憲法はアメリカが作った」というトリックについて、「天皇を守る避雷針として日本の権力者がGHQ草案を選択した」と指摘、鈴木安蔵らの憲法研究会の憲法草案が現行憲法に結実し、日本人の手による審議によって、「国民主権」や「社会権」の明記など重大な修正も行われて日本国憲法が完成したと強調しました。また、日本国憲法は「完全装備の豪華客船」だ。アメリカ憲法にもなかった「社会権」「性別による差別禁止」「女性参政権」も完備済み。「戦争放棄・戦力不保持・平和的生存権」までであると訴えました。

続いて総会議事に移り、金原徹雄さん（運営委員）から、「私たちを取りまく情勢」

が、荻田信吾さん（事務局長）から、2018年度の活動内容と決算、2019年度の活動計画と予算案が報告・提案され、承認されました。そして、原代表から2019年度の運営委員候補が提案され、承認されました。（「九条の会・わかやま」375）

## 安倍政権の軍学共同を拒否

【大阪府／関西大学九条の会】 「軍学

共同いらない！ 市民と科学者のつどい」が22日、大阪府吹田市の関西大学で開かれ、61人が参加しました。主催は関西大学九条の会。

同大学は3年前に軍事目的を研究内容とする外部資金を受け入れない方針を決め、今年3月にこの方針の運用のためのガイドラインをつくりました。大学や公的研究機関、企業に軍事技術の研究委託を進める安倍政権の「安全保障技術研究推進制度」に拒否の態度を示すものです。

つどいでは、同大学の高作正博教授が報告。「人間の尊厳、基本的人権や人類の平和・福祉に反する研究活動に従事しない」とする同大学研究倫理基準（2007年制定）にもとづいて学内で議論した経過を説明。

吉田栄司同大学教授は、国立大学運営費交付金削減などによる大学の自治侵害と、9条改憲を掲げ憲法を軽視する安倍政権の強権性が表裏の関係にあると述べました。

## 安倍改憲の動きに油断は禁物

【東京都／東京外語大・九条の会】 東

京外語大・九条の会の総会・講演会が6月15日（土）、府中市の同大学キャンパスで開かれました。

会員ら約50人が参加。安倍政権の9条改憲を阻止、参院選では野党共闘を成功させ改憲反対勢力を伸張しようとの2019年度活動方針を決めました。

総会に続く講演会は「私と憲法と日本」のテーマで、同大学卒業生（1976年インドネシア語科卒）の作家でTVコメンテーターを務める吉永みち子さんが講演。「安倍政権は常識を超えて改憲を強行する可能性があり、警戒を要する」として、「改憲派は日本会議を中心にこつこつ準備をすすめてきており、改憲の1000万署名を達成、いわゆる常識に反して一気に強行する可能性もあり、大いに警戒を要する」などと語りました。（『新聞OB『九条の会』第115号）

## 憲法を学び政治を変える力に

**【大阪府泉大津市／泉州若者集会実行委員会】** 憲法を学び政治を変える力にしようと、泉州若者憲法集会&デモが23日、大阪府泉大津市で行われ、約30人が参加。

同集会実行委員長の望月亮祐さん（27）は、東京での若者憲法集会（9日）について報告。沖縄の玉城デニー知事を当選させた青年の話などを聞き、「全国からこれだけの若者が政治的な関心で集まり、スピーチする姿に勇気づけられた」と語りました。

同じく東京集会に参加した北川恵里香さん（23）は「兵器を買うな、保育士増やせ」というコールに「子どもは宝で、子育てしやすい社会は大切だと思うので説得力を感じました」と述べました。

長尾ゆりさん（全労連副議長）が講演。誰もが自分らしく生きられる権利が憲法に定められていると語り、「声を上げにくい時

代に、上げられる空気をつくっていく。それを応援してくれるのが憲法ではないか」と話しました。

参加者はコールを考案し、手作りのプラカードを持ち同日夕に大阪市で行われた「GO VOTE PARADE」に合流しました。

## バッグの中に署名用紙をいつも

神奈川県厚木市 あつぎ・九条の会

木下 泰子

友人・知人・親族からの賛同は既に終え、限界を感じる中、皆さんの創意ある取り組みに頭が下がる思いです。

「どれほどの犠牲をはらっての憲法前文や9条か」を嘔み締め、「安倍政権の下での改憲は危険！発議させない」の思いで、バッグの中に署名用紙を常備することに。

「厚木市九条の会ネットワーク」の駅前宣伝や「森の里・九条の会」の呼びかけるスーパー前での宣伝活動等、可能な限り参加。また偶然お会いした元同僚や前に住んでいたところの知り合いなどに、勇気をだして声をかけ2筆、3筆いただくこともありました。

アミューでの「誰がために憲法はある」の上映日、前川喜平さんのお話の後、ロビーにいらっしゃった数人に「署名はお済み？」と呼びかけましたら、3名5筆。関心ある方々にもまだ届いていないんだと驚きました。

私たち市民こそ、今の政治のひどさと希望を分かち合いたい、平和憲法を守りたいと願うばかりです。

（『あつぎ・九条の会』No152）